

かながわ気候市民会議 i n 逗子・葉山



フードバンクかながわ 報告資料

「もったいない」を 「分かち合い」 ～
「ありがとう」へ

2023年10月28日

公益社団法人フードバンクかながわ
事務局長 藤田 誠



ホームページ

<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》

フードバンクかながわのしくみ

イメージ図



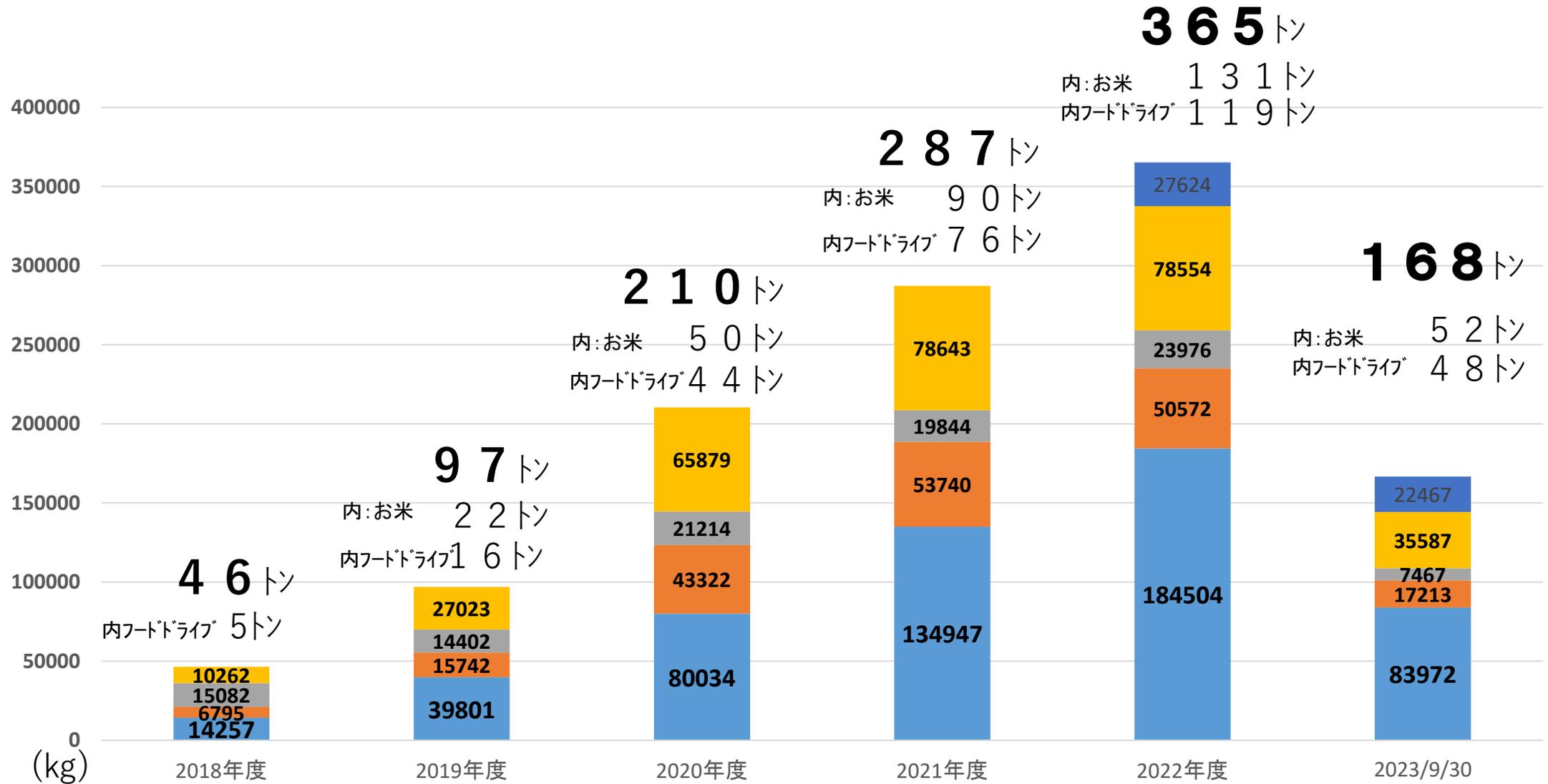


フードバンクかながわの現状

2023年10月20日現在

- 正会員 12団体 (306口:1口5万円)
- 賛助会員入会状況
 - (1) 団体会員 222団体 (712口:1口1万円)
 - (2) 個人会員 315名 (1,829口:1口千円)
- 寄付金 7,747,924円(累計85,562,500円)
- 合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 281社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 63団体
 - (3) 食品受取団体 292団体
- フードドライブ回収拠点 349カ所
- 2022年度フードドライブ実施団体 179団体(社)

2018-2023年度食品寄贈重量(中分類別)



■ 主食・麺類 ■ 副食・調味料 ■ 菓子・嗜好品 ■ 飲料・その他 ■ 冷凍食品・パン・野菜

※その他＝ベビーフード、栄養補助食品、家庭用品など

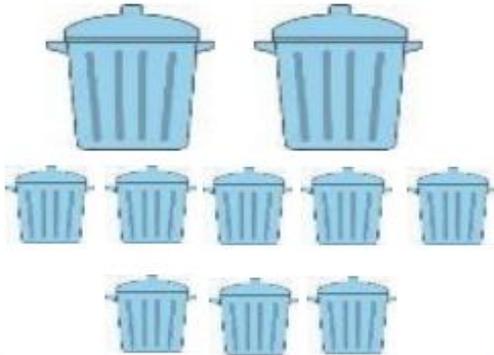
日本の「食品ロス量」

約522万トン



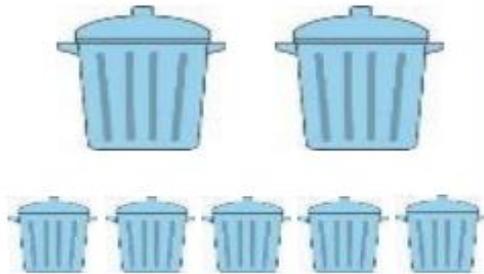
事業系

約275万トン



家庭系

約247万トン



神奈川県の商品ロス量

事業系

約24万トン

家庭系

約21万トン

国民1人当たり食品ロス量

1日 約113g

※ 茶碗約1杯（約150g）のご飯の量に近い量

年間 約41kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約53kg）に近い量



資料：総務省人口推計(2020年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）

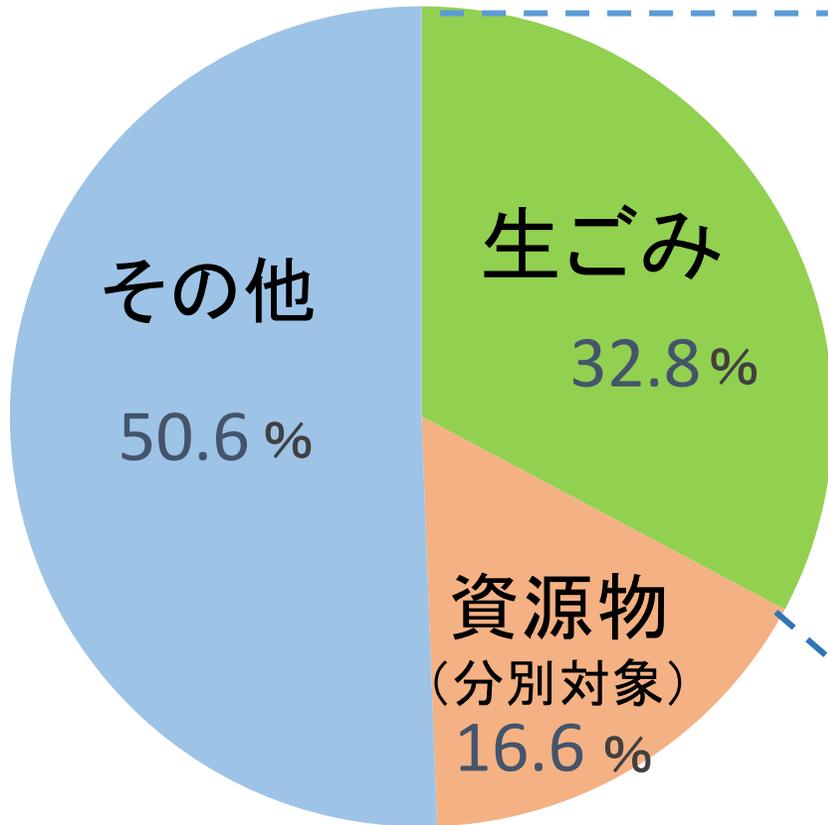
神奈川県内の家庭から出される食品ロス(2019年)

食品ロス発生量 = 211,000トン/年 (事業系: 277,000トン/2018年)

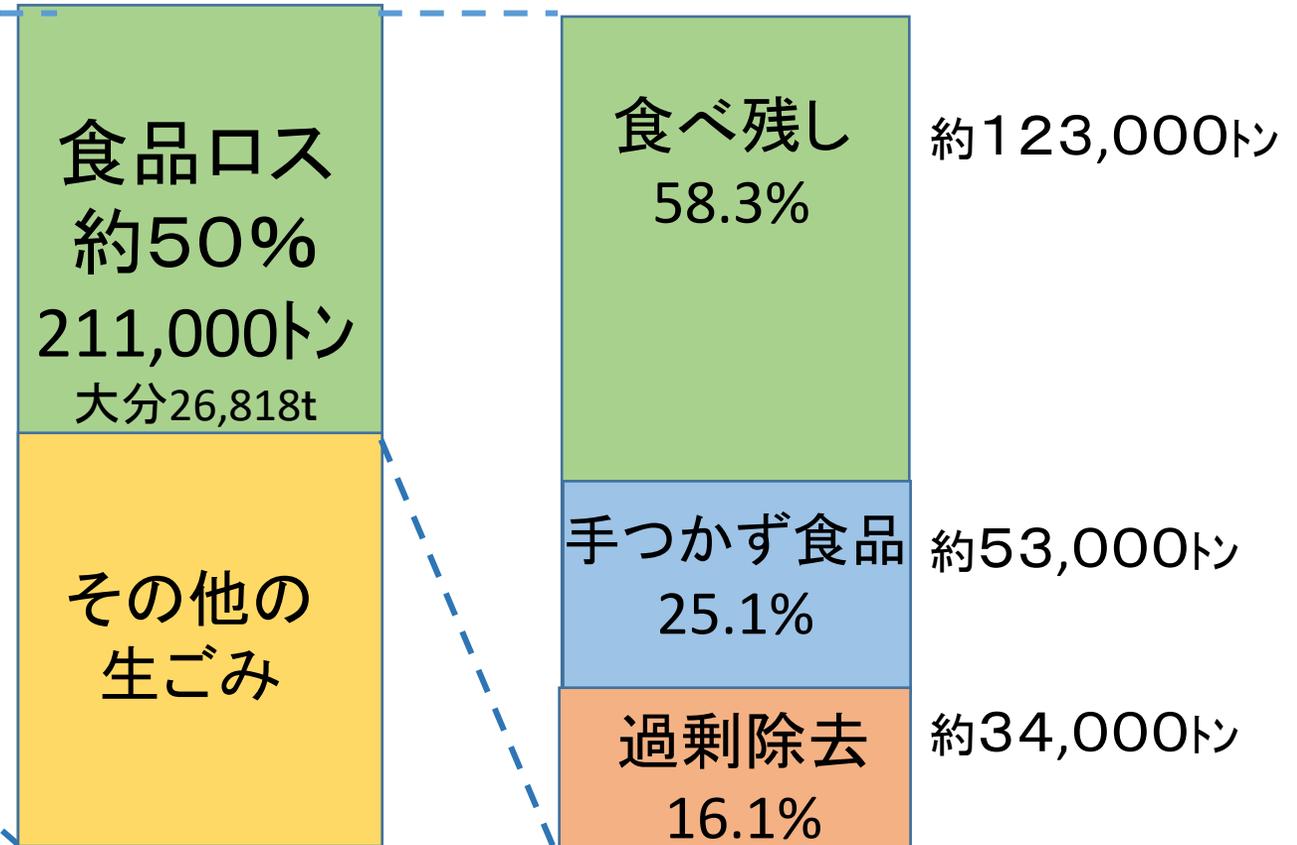
◆ 処理費用約84億8600万円 (1t当たり40217円)

◆ 温室効果ガス排出量(CO2) = 約53,592トン (1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2019年)



食品ロスの種類と発生量(2019年度推計)

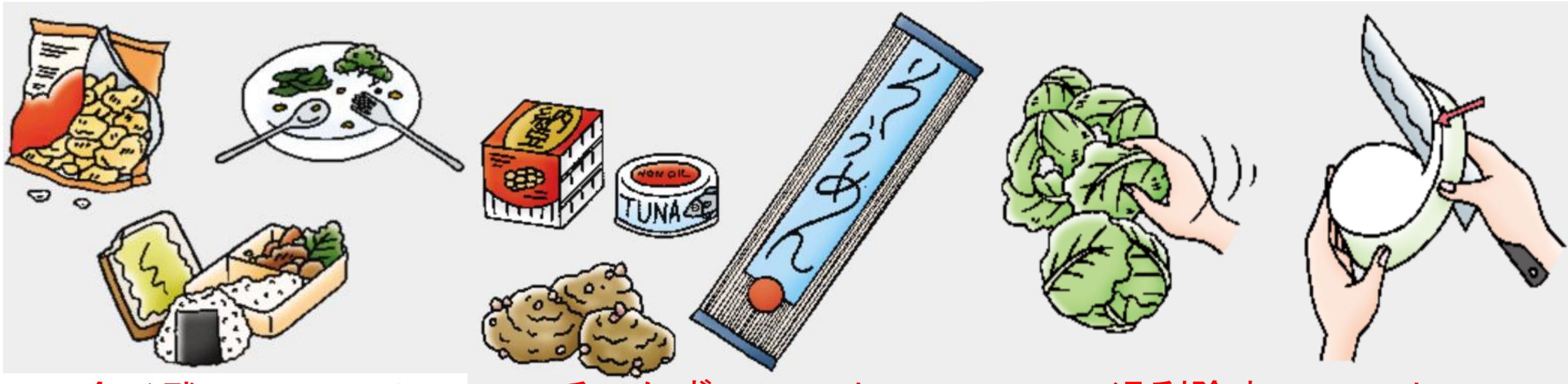


神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2) = 約51,400トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 123,000トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・
ちよつと残し等

◆処理費 = 49.5億円/年

●CO2 = 31,083トン

手つかず 53,000トン

調理されず、何も手がつけら
れずに廃棄される食品

◆処理費 = 21.3億円/年

●CO2 = 12,911トン

過剰除去 34,000トン

野菜や果物の皮を厚くむきす
ぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費 = 13.7億円/年

●CO2 = 8,282トン

ご家庭に眠る食品をお寄せいただき フードドライブにご協力ください。

フードドライブとは、ご家庭に眠る食品をご提供いただき、フードバンクを通じて支援が必要な方々に届ける活動で食品ロス削減にもつながります。

ご寄贈できる食品

- ・常温で保存できるもの
- ・開封されていないもの
- ・賞味期限が明示され、残り2か月以上あるもの
(米、砂糖、塩、化学調味料・ガムなど期限表示義務のないものは表示がなくてもOK)

ご寄贈できない食品

- ・アルコール類(ノンアルコールビール等含む)
- ・生鮮食品、冷凍・冷蔵食品
- ・包装が破れているもの、賞味期限の記載のないもの等



喜ばれる食品

- ・お米(前年度産迄で1合でも可)
- ・麺類(そうめん、パスタなど)
- ・カップ麺
- ・缶詰、レトルト食品等
おかずになるもの
- ・調味料・食用油など
- ・お菓子・粉ミルク・フルーツ缶など

2022年度フードドライブ実績

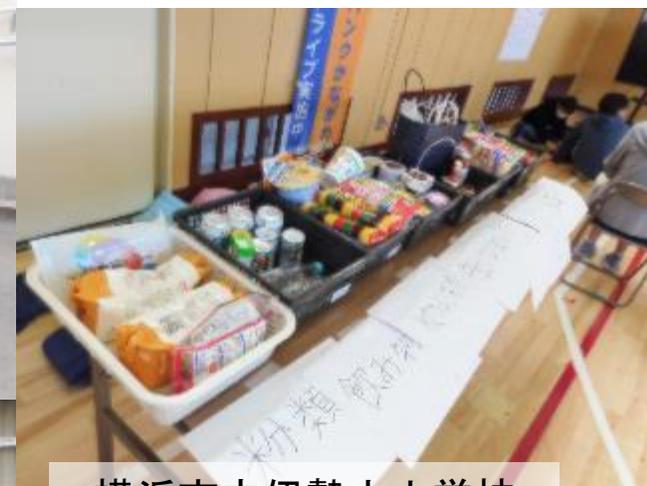
※2023.3.31までに 点検・仕分終了分

ユーコープ 78店舗	13560kg
パルシステム神奈川	19892kg
生活クラブ生協	4339kg
その他生協(福祉クラブ・ナチュラルコ-op・うらがCO-OP)	1573kg
労働関係	9973kg
JA関係	2920kg
神奈川県	1445kg
横浜市(栄区・港南役所)	1151kg
横須賀市	523kg
社会福祉協議会	1189kg
イトーヨーカドー31店舗	22896kg
そうてつローゼン17店舗	8763kg
イオン2店舗	541kg
無印良品30店舗	6919kg
その他小売(伊勢丹、高島屋、そごう、岡田屋)	356kg
中栄信用金庫	2447kg
小・中・高・大学生	1877kg
その他の団体・企業	12962kg
個人(持込・直送531名分)	6013kg

合計: 119,480kg



相模原市立淵野辺小学校



横浜市立伊勢山小学校



イトーヨーカドーたまプラーザ店



ユーコープ店舗(358箱)

https://youtu.be/PY7JQek9eJU?utm_source=group_pr&utm_medium=d_pr&utm_campaign=stst_F&utm_content=2306

事業系【外食産業・製造業・卸売業・小売業】の食品ロス の例



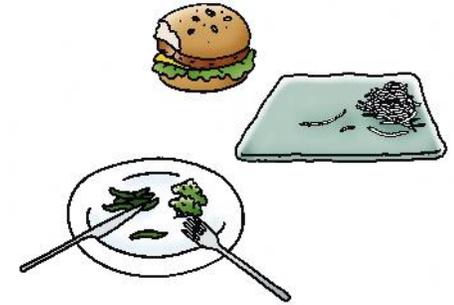
売れ残り

店舗で売れ残ったもの



仕込みすぎ

飲食店で仕込みすぎた料理



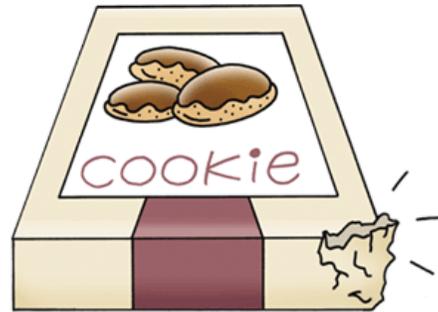
食べ残し

飲食店で客が食べ残したものの



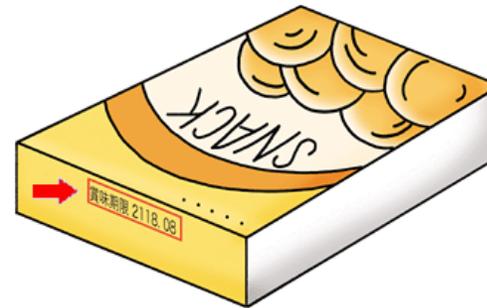
納品期限切れ

欠品を防ぐために多く仕入れた商品のうち、期限切れなどで販売できなくなったもの、企業の商習慣(1/3ルール)など。



破損品

輸送過程で中身は何ともなくても、外箱が破損したり汚れて販売できなくなったもの



規格外品

製造過程での印字ミス(賞味期限、消費期限など)や型くずれ等により販売できなくなった食品

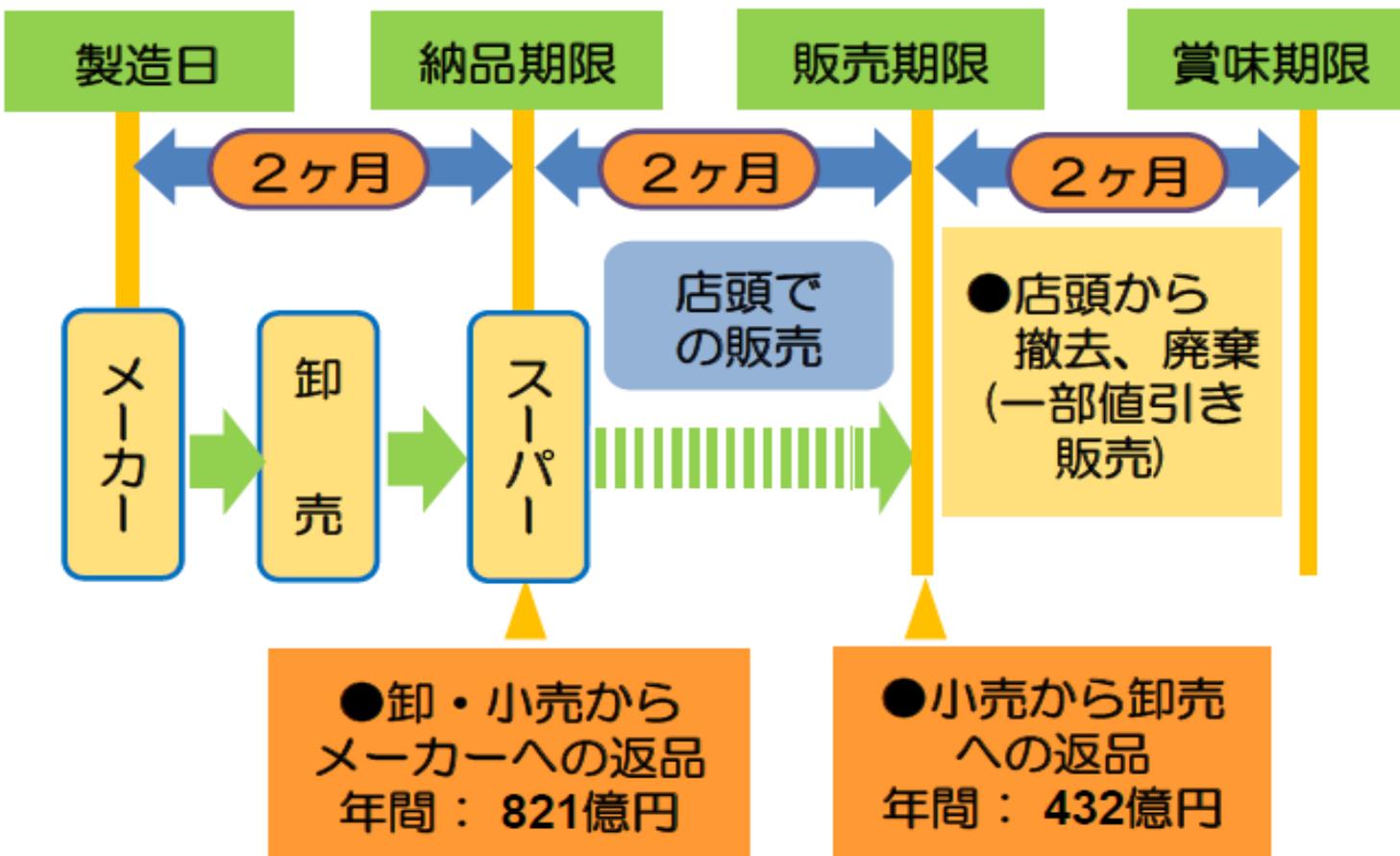


製造や加工工程での調理くず

製造過程で食べやすい大きさや容器に入る重量に原料をカットする等で必然的に廃棄される食品

- 小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間を概ね3等分して商慣習として設定される場合が多く（いわゆる3分の1ルール）、食品ロス発生の一つの要因とされている。

いわゆる3分の1ルールによる期限設定の概念図（賞味期限6ヶ月の場合）



1/3という
商習慣

食べられるのに捨てられる

●欧米の納品期限

国	納品期限 (賞味期限ベース)
アメリカ	1/2残し
フランス	1/3残し
イタリア	1/3残し
ベルギー	1/3残し
(参考) 日本	2/3残しが平均

☆3010（さんまる いちまる）運動

- ✓ 宴会時において、約7皿に1皿相当が食べ残されている状況。
- ✓ 3010運動は、宴会時に「食べきりタイム」を設け、食品ロスを減らす取組。
- ✓ 長野県松本市で平成23年5月から始まり、多数の自治体に広がっている。



宴会での食べ残しを減らす運動です

乾杯後 **30分間** は席を立たずに料理を楽しみましょう

お開き **10分前** になったら席に戻って料理を楽しみましょう

京都市の調査によれば、宴会で「幹事からの声かけ」や「卓上POPの設置」の取組を行った場合、取組なしにくらべて、食べ残し量が**約4分の1**に。

(調査対象数が少ないため一般化はできないことに留意)

【地方自治体の取組（松本市、佐賀市）】



	調査対象 宴会(回)	参加人数 (人)	食べ残し 総量(g)	平均1人当たり 食べ残し量(g)
取組あり	4	59	417	$\frac{1}{4}$ ← 7.1
取組なし	5	107	3,315	31.0

【3010運動テーブルトップ（環境省・農林水産省）】



資料：第60回京都市廃棄物減量等推進審議会（平成29年3月28日）

マルハニチロで発生しているフードロス

”まだ食べられるにもかかわらず、販売できなくなった商品”
が廃棄されて、フードロスとなっています



角の箱潰れのため廃棄



洞潰れのため廃棄



表面破れのため廃棄

- ・輸送時の外装破損品（商品自体に問題がない破損）
- ・輸入時の抜き取り検査による箱開封品（端数品）
- ・終売品、滞留在庫（納品期限切れ） など

フードロスの現状と課題

マルハニチロでのフードロスの発生状況と課題

- ・商品の中身に問題がないような軽微な外装破損でも、物流会社(倉庫や配送業者)から受取拒否
- ・1ケース2合わせなどの規格の商品では、バンドの食込みによる破損も多いが、片方の箱が破損すると、もう片方が問題ないとしても、単箱では規格外品のため流通不可
- ・輸入の際の抜き取り検査による箱開封品(端数品)は、品質は問題ないが規格外品となるため流通不可



軽微な外装破損



バンド食込みによる破損



抜き取り検査による箱開封品

新たな取り組み：2022.4冷凍食品

休眠預金活用助成により冷凍食品取り扱いを開始



休眠預金助成金で冷凍トラック(2トン車)を購入



助成金にて購入した冷凍ストッカーを地域のフードバンクに無償貸与



東扇島(川崎市)のヒュウテックハウリン冷凍倉庫



横浜市立大学



JAさがみ様より冷凍コンテナ寄贈

ひろがるフードドライブ

回収拠点300カ所を超える



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁(2回目)



YSCC (サッカーJ3)



神奈川県弁護士会



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



JA神奈川県中央会



東京サラヤ(株)



(株)伊達建設



明治安田生命



横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会



スズキ自販湘南 394kg



ユーコープ湘南2エリア



学生ボランティア連合



三菱UFJ信託銀行



J A横浜 女性部



横浜銀行親子体験研修



横浜女学院



ユーコープ親子体験研修